

**スマート見張り隊
マニュアル
(HGW-3)**

はじめに

このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ✓ ご使用の前に、この取扱説明書に記載の「安全にお使いいただくための注意」を必ずお読みください。
- ✓ この取扱説明書および保証書は大切に保管してください。
- ✓ アプリの更新等によりアプリの画面や細かい内容が変更になる場合があります。
- ✓ センサー・スイッチの説明書も併せてご覧ください。

安全にお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書での表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気を付けるべきこと」を意味しています。
(左の例は感電注意)



⊘記号は「してはいけないこと」を意味しています。
(左の例は分解禁止)



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。

(前文/安全上のご注意)

●安全に関するご注意

- ・ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- ・本製品を分解又は改造して使用しないでください。ⓧ
- ・本製品を正常にお使い頂くために日常点検をお願いいたします。
- ・誤って使用された場合の保証及び事故については、当社では責任を負いかねます。
- ・製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

(コンプライアンスに関して)

- 当社の製品に使用している無線機器は、全て電気用品安全法及び電波法に適合した製品です。

(取り付けに関して)

●両面テープでの設置についてのご注意

- ・ドアセンサー固定用の両面テープは同梱されています。剥離紙をはがしてご使用ください。
- ・製品を外す際に、剥がれる場合がありますので、土壁等、剥がれやすい場所には設置しないでください。

●取り付け環境

- ・電波状況の良い位置に設置してください。下記のような使用環境では、電波ノイズを受けたり電波の到達距離が短くなったりします。このような場合は動作しないことがありますのでご注意ください。⚠
- 製品間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がある。
- 製品間にある壁面内の断熱材にアルミ箔を貼り付けたグラスウールを使用している。
- 製品の周辺が金属で囲まれている。(スチールキャビネットの間、カラオケボックスなど)
- 操作する人の体の向きで電波を遮っている。
- 製品の近くで、直流電圧で駆動するベルやモーターなどの機器が動作している。
- 製品の近く(10m以内)で、マイクロ波治療器を使用している。
- 付近に放送局、無線局、自衛隊などの基地、高速道路料金所などの強い磁気が発生するものがある。
- ・付近にアマチュア無線のアンテナがある場合は、双方に影響が出ることもあり得ますので、購入される前に販売店にご相談ください。
- ・本製品は日本国内のみで設置できます。

●取り付け工事

- ・電気配線が必要とする機器と各通信線を接続する時は、ブレーカーを「切」にしてから工事を行ってください。
- ・取り付けに際しては、「電気設備技術基準」「建築基準法」「内線規程」や、各地の条例、消防法に従って正しく工事を行ってください。
- ・電気工事士の資格を持っていない方は工事を行わないでください。工事に不備があると感電、火災の原因になります。電気工事は電気工事士の免許が必要です。必ず有資格者が実施してください。
- ・設置に際しては、当社又は当社代理店、工事講習を受講した会社又は工事店等、システムを理解した者にご相談ください。製品の取付工事及び配線工事に関しては、有資格者の施工が義務づけられているものがあります。

●その他の注意

- ・使用場所ではあらかじめ動作確認を行ってください。設置後、使用環境(電波環境)が変わることがあります。
- ・分電盤の形状によっては、クランプ型パワーメーターを設置できない場合や分電盤に穴あけ工事が必要な場合があります。
- ・取り付け金具は、製品の個数、取り付け場所・範囲によって異なります。詳しくは当社までお問い合わせください。
- ・取り付け、施工、電気配線への組み込み等の付帯作業は別途現地確認が必要になります。

(保守、使用上のご注意)

- 本製品の設置後、使用環境(電波環境)が変わることがありますので、定期的に電波到達確認を行ってください。

- 本製品の設置場所を変えたときは、必ず接続状態を再確認してください。

- 本製品の電池交換や定期的な動作確認を怠るなど、保守点検等の不備があった場合の不具合による事故・損害については一切責任を負いません。本製品の機能を常に正常に保つために日常点検及び定期点検を心がけてください。

- 本製品は防湿・防水・防滴・防塵仕様ではありませんのでご注意ください。水などで濡れた場合は速やかに拭き取ってください。特に水に浸けての洗浄は絶対に避けてください。(火災、感電、故障の原因になります)ⓧ

- 以下のような場所でのご使用は避けてください。ⓧ

- ・ガステーブル付近など高温(50℃以上)になる場所
- ・浴室や洗面所など、水のかかりやすい場所や温度の高い場所
- ・霜がつく場所
- ・ゴミ、埃、粉塵、油煙の多い場所
- ・振動の多い場所や不安定な場所
- ・直射日光の当たる場所
- ・幼児の手が届く場所
- ・テレビ、ラジオ、電子レンジなどに近い場所
- ・温泉地など硫化水素の発生する場所

- 本製品を燃やしやすいもので覆ったりかぶせたりしないでください。ⓧ

- スイッチ類の脱着の際は、必ず本製品の電源をお切りください。感電の原因になります。⚠

- コンセント型スイッチやマイクロスイッチなどのスイッチは、電気ストーブや電熱器のような火災の恐れのある機器は接続しないようにしてください。ⓧ

- 本製品を表示された電圧より高い電圧で使用しないでください。破損や短寿命の原因となります。ⓧ

- 本製品を周波数50Hz・60Hz以外の電源では使用しないでください。

- 本製品は屋内専用であり、屋外では使用しないでください。ⓧ

- お買い上げ後12ヶ月は無償保証期間です。但し、次の場合は保証の範囲外とさせていただきます。ⓧ

尚、ここで言う保証は製品のみ保証であり、製品の故障により誘発される損害についてはご容赦頂きます。

- ①使用状態が正常でない場合(製品取扱説明書に基づく使用でない場合)
- ②不当な改造、修理による場合
- ③販売店の運搬、落下などによる場合
- ④天災、災害などによる場合

- 本製品ご利用の際には、別途製品の電気代が必要です。

- 故障した当社製品は、保証期間中は無償交換、保証期間経過後は有償交換となります。訪問による修理対応は行いません。

- 本製品は製造打ち切り後、補償性能部品もしくは代替品を提供することが不可能な場合には、お買い上げいただいた製品と同一品又は同等品との交換となります。

(無線通信に関して)

- 本製品間の無線到達距離は見通し距離で約30mですが、使用場所、建物の構造など環境により短くなる場合や通信速度が遅くなる場合があります。

- カタログ上の到達距離は「屋外での見通し」の場合です。

- 設置する場所の電波状況によっては通信を改善するために、本製品の設置位置を調整する必要がある場合があります。

電波状況は、実際にご使用になる場所で、デモ機でご確認ください。

- 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、又は本製品の運用を停止してください。

(使用電力量の計測値について)

- 本製品は計量法の対象製品(電力測定器)ではありません。計測された電力使用量のデータに基づいて、使用量や目安料金として換算して表示します。これは目安値ですので、電力会社からの請求書に記載される使用量と一致するものではありません。

(医療機器等への影響／介護見守り)

- 無線電波が医用電気機器に影響を与える可能性もあります。極めて少ないものですが、安全管理のために本製品は医用電気機器から離してご使用ください。また医療機関の使用禁止場所でもご使用にならないでください。▲
- 無線電波は環境等による電波状況により到達しない場合があります。
- 通報先が移動通信機（携帯電話、PHS等）のときは、電波の届かない場合、留守番電話の場合や電源が切られていて通報できない場合があります。
- メール通信使用の場合、メール送信の遅れや、ネット回線のバンクによりメール送信ができない場合があります。
- 本製品は、介護者の手助けをするものです。徘徊者の安全や防犯を保证するものではありません。
- 本製品はセンサーの反応状況が事前に設定した通知条件に該当した場合のみ通知を行うものであり、利用者の安全や健康状態、緊急事態について通知を行うものではありません。
- 本製品は転倒・転落事故の防止を保证するものではありません。
- 本製品は報知連絡用製品で、生命救済を目的とした緊急呼出装置のような製品ではありません。介護などの補助的装置としてご使用ください。
- 本製品は、快適な生活をお手伝いするシステムであり、医療用製品、災害防止用製品ではありません。ご使用上で万一発生した人身事故、災害事故、環境破壊事故及び製品のご使用方法の誤り、保守点検や施工上の不備、天災地災（誘導雷サージ含む）などによる事故損害について、当社は責任を負いかねます。
- 本製品は徘徊報知用などとして使用するものであり、転倒・転落を直接的に防止するものではありません。あくまでも転倒・転落防止の補助手段として使用するものであり、対象者の行動が全て把握できるわけではありません。万一発生した人身事故、災害事故等による損害について当社は一切責任を負いません。

(防犯)

- 本製品は、災害防止機ではありませんので、万一火災・盗難事故などによる損害が生じても、当社では一切責任を負いかねます。
- 本製品はセキュリティシステムではありません。利用者の被害や災害を保证するものではなく、また、侵入盗の抑止を保证するものでもありません。日ごろの防犯は、利用者ご自身で心がけてください。

(知的財産権、商標)

- Z-WAVE (R) は、米国及び他の国で、Sigma Designs, Inc.と子会社の登録商標です。
- 「スマート見張り隊」はムラテックシステム株式会社の登録商標です。
- その他記載されている、会社名、製品名、ロゴなどは、各社の登録商標又は、商標です。

(免責)

- 下記の場合で、ご使用上で万一発生した事故損害について当社は一切の責任を負いません。
 - ・本製品は人身障害・盗難・災害・事故等の防止を保证するものではありません。従って、万一発生した人身障害・盗難・災害・事故等につきましては一切保証の範囲外である旨ご理解の上ご使用ください。
 - ・本製品は報知・連絡用であり、生命救済・犯罪防止を目的とした製品ではありません。万一発生した人身事故、災害事故等による損害については、当社は一切の責任を負いません。
 - ・本製品は安全を保证するものではありません。本品を使用している事故等については一切の責任を負いません。
 - ・第三者による行為、本製品の使用上の誤り、利用者による改造・修理による不具合・故障、利用者の故意または過失、その他正常でない条件での使用により生じた損害などに関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は通信回線環境に影響を受けるものであり、下記の場合、当社は一切の責任を負いません。
 - ・通信回線の障害・天災地変（誘導雷サージ含む）・当社責任以外の火災・停電など、不可抗力によりサービスの提供が不可能な場合
 - ・設定をリセット（解除）している間に損害が発生した場合
 - ・電気機器の遠隔操作が不成功に終わった場合の損害
 - ・その他、当社の責めに帰すべき事由に該当しない場合
- 本カタログに掲載された使用用途例は全て単なる例示でしかありません。当社は、このような使用用途例について、特許権等の知的財産権を保有していることを保証するものではなく、また、このような使用用途例が第三者の特許権等の知的財産権を侵害しないことを保証するものでもありません。

(製品／仕様)

- HA端子での制御
 - ・HA端子を利用する場合は、HA用スイッチとHA端子制御用のオプションが必要となります。
 - ・また制御対象となる家電機器にHA端子（JEM-A規格）が装着されている必要があります。
 - ・お客さまの空調設備の機種また設置状況により自動制御できない場合があります。
 - ・HA端子を利用した電気機器の制御はON/OFFのみの操作が可能となります。
 - ・宅外から遠隔操作をするときは、エアコンやその周辺、在室する人などの状態を確認することができないため、事前に安全を十分確認のうえ、お使いください。
 - ・お子様（乳幼児）や身体の不自由な方・高齢者など、ご自身で室温調整等ができない方が在室している場合は十分注意し、利用者の責任にて操作を行ってください。!
- ドアセンサーの電池寿命
 - 市販のCR123Aを使用した場合：約1年／1日50回使用時（25℃で使用時）
 - 注1）送信間隔が短い場合や常温以外で使用した場合、電池寿命が短くなります。
 - 注2）極性を間違わないように入れてください。!
- マルチセンサーについて：
 - ・湿度データに関しては経年変化の可能性がります。
 - ・温度がマイナスの場合、湿度は正しい値を示しません。
 - ・照度センサー部で感知する光源は蛍光灯、白熱灯、白色LED、太陽光などです。なお、太陽光を直接測定することはできません。
 - ・モーションセンサー部は特性上、5℃付近の低温時や35℃以上の高温時は感度がやや鈍くなります。
 - ・半導体を使用しているため、周囲温度・環境により、センサーの検知距離が変わることがあります。

(その他の注意事項)

- 本製品の遠隔操作や使用にはインターネットの常時接続環境が必要です。
- プロバイターの指定はありませんが、必ずルーターが必要です。
- 各種サービスの契約や利用料が別途必要です。
- 本製品で使われるZ-WAVE無線ネットワーク以外のネットワーク機器（モデム・ルーター等）は、本システムには含まれません。
- スマートフォンなどのタブレット端末からの遠隔操作には、別途パケット通信が発生します。パケット通信料は、本製品に含まれません。
- 無線区間では故意に第三者によるデータ傍受がされることがあります。
- 突然の故障などにより、データが消失する場合があります。
- インターネットを使ったサービスのため、回線の状況によってはメール通知やデータ表示に時間がかかる場合や、提供できない場合があります。
- メンテナンスなどでサービスを停止する場合があります。
- 停電やノイズの混入などにより、使用電力の測定データに誤差が生じる場合があります。
- 利用環境によっては無線通信が届かず本製品がご利用いただけない場合があります。
- 今後発売されるすべての機器に対しての使用を保证するものではありません。
- 当社は、利用者から提供された利用者及び利用者の個人情報、プライバシー情報を当社が定めるプライバシーポリシーに基づき、適切に管理の上、取扱いを行います。
- 本サービスを提供するために必要となる範囲で利用者の消費電力情報を定期的に収集します。また、個人を識別できない方法により、消費電力量等の取得情報を統計データとして第三者に提供することがあります。
- 当社は、利用者よりいただいた氏名・住所などの個人情報を修理やご相談への対応、その他の確認や製品、サービスのご案内のために利用し、記録に残すことがあります。また、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合は、第三者に個人情報を開示・提供することがありますが、その場合においても個人情報を適切に管理します。
- 当社は、アンケートやお見積り等において得た氏名、住所、電話番号等の個人情報を、当社の他のサービスのお知らせ（ダイレクトメール、当社カタログの送付）、電話連絡（ご相談内容の連絡など）、訪問（勧誘等）や、関連する調査・分析（サービス改善のための分析のみ）・研究開発を目的として利用させていただく場合があります。



システムについて

「スマート見張り隊」は、ホームコントロールに最適な、無線ネットワーク規格「Z-WAVE」を使って、環境の「見える化」や家電の「自動化」に必要なセンサーやスイッチを組み合わせ、より便利で快適な暮らしを実現するサービスです。

- ✓ インターネット接続できるルーターとつなげることで外出先から家の温度の状態を確認したり、照明やエアコンのON/OFFをすることができます。
- ✓ iPhoneやiPad、Androidのタブレットやスマートフォンで専用アプリを使用します。
- ✓ パソコンから、このシステムを利用することはできません。



アプリのダウンロード

操作するには、iPhoneやiPad、Androidのタブレットやスマートフォンに専用アプリ「Home Mate2」を設定することが必要です。

アプリはiPhone、iPadの場合はApp Storeからダウンロードします。

AndroidのスマートフォンやタブレットはGoogle Play Storeからダウンロードします。

ダウンロード方法については各端末のマニュアルをご確認ください。



Home Mate2

App icon



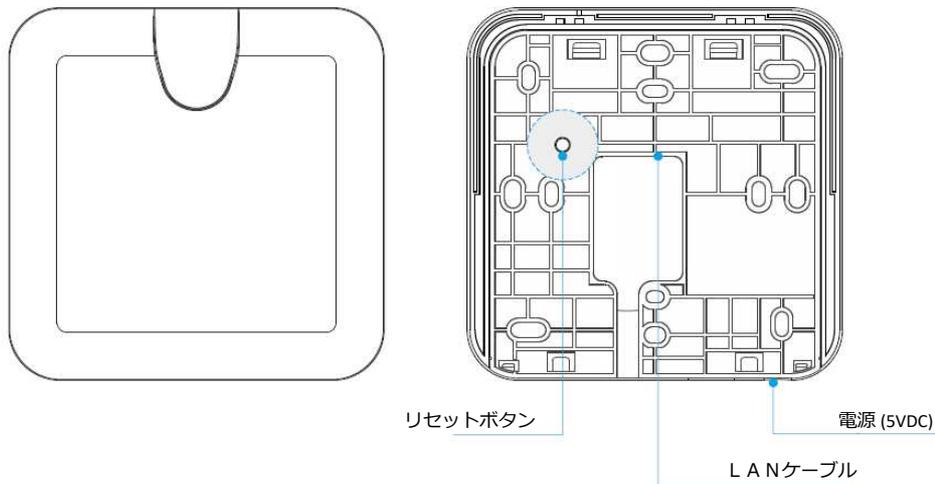
For iOS



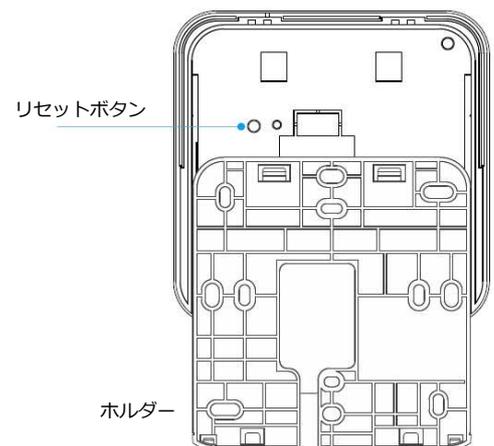
For Android



ゲートウェイ本体について

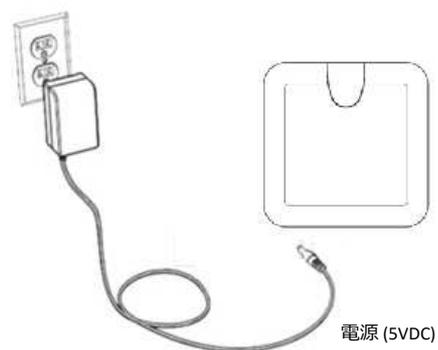


- ゲートウェイ裏面にはホルダーが付いており、下側にスライドすることで外れます。
- ゲートウェイを壁や天井に設置する場合はホルダー部分を接地面に取付け、ゲートウェイをホルダーに戻します。



電源に接続

本体に付属の電源ケーブルを接続し、コンセントに接続すると電源が入ります。電源を切る場合は、そのままコンセントからケーブルを抜いてください。

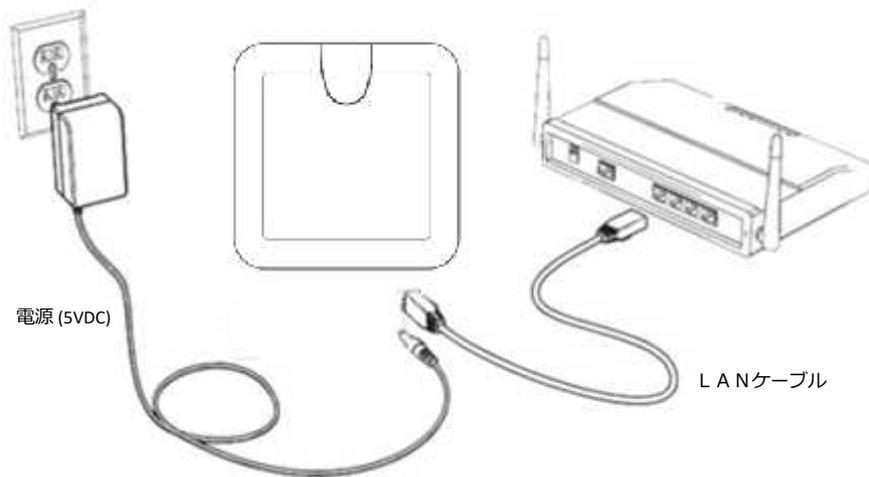




ゲートウェイとルーターの接続方法

ゲートウェイをルーターと接続することで外出先からスマートフォン等で自宅のセンサーの状態を見たり、家電機器の電源ON/OFFをすることができるようになります。
ゲートウェイとルーターの接続方法には有線の場合と無線の場合と2種類あります。

◎ ゲートウェイとルーターを有線(LANケーブル)で接続する場合



- ① ゲートウェイ本体とインターネットにつながるルーター(HUB)を付属のLANケーブルで接続します。
- ② 付属の電源ケーブルをゲートウェイに接続し、コンセントに接続することで電源が入り、ゲートウェイ横のLEDが点灯します。
- ③ インターネットに接続すると、ゲートウェイの前面に白いLEDが点灯します。



◎ ゲートウェイとルーターを無線(Wi-Fi)で接続する場合
(P12「アプリについて」も併せてご確認ください)

- ① ゲートウェイを電源に接続します
- ② スマートフォンの設定画面 > Wi-Fi と進み、Wi-Fiを有効にします。
(図はiPhoneです)



- ③ 表示されたSSID一覧の中から、「PSC03*****」を選択し、パスワードを入力して接続します。(初期パスワードは12345678です)



- ④ Wi-Fi接続完了後、アプリを起動し、ログインします。
(ログイン方法は1 2ページをご確認ください)
- ⑤ ログイン後、画面右下の[設定]→[ゲートウェイ情報]と進み、
[Wi-Fi ネットワーク]の[AP mode****]となっている右側の無線アイコンをタップ
します。



- ⑥ 「STA Mode」を長押しして離すと、SSIDの一覧が表示されますので、接続したいルーターのSSIDを長押し選択して、パスワードを入力します。
(ルーターのパスワードはルーターのマニュアル等をご確認ください)
- ⑦ 先ほどの「Wi-Fi ネットワーク」の箇所で「STA mode (接続したいルーターのSSID)」となっていれば、接続完了です。(設定反映まで少し時間が掛かります)
- ※ SSID一覧に接続したいルーターのSSIDが無い場合は、ルーターの電源を一度切り、30秒ほど待って再度電源を入れてご確認ください。
- ※ 変更した設定が更新されない場合は、一度スマートフォンのホーム画面に戻り、再度アプリをタップしてください。



アプリについて



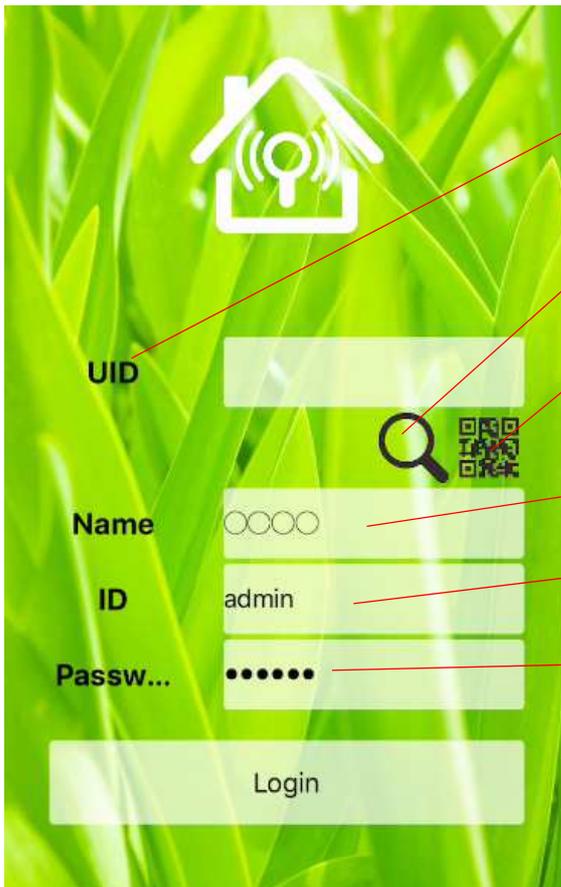
アプリをタップします



ログイン画面の各項目を入力し、Loginをタップします。

ログイン画面について

UIDは次のいずれかの方法で入力してください。



ゲートウェイの端末IDです。「虫眼鏡アイコン」、「QRコード」、「手入力」のいずれかで入力できます。UIDはゲートウェイ背面に記載しています。

ゲートウェイとスマートフォンが同じルーターに接続されている時に使用すると、UIDが表示されるので、選択して入力できます。

タップするとスマートフォンでカメラが起動し、ゲートウェイ背面のQRコードを読み取ることでUIDを入力できます。

アプリでの表示名です。自由に設定できます。

「admin」と入力します。

初期パスワードは「888888」です。パスワードはログイン後の設定画面で変更できます。

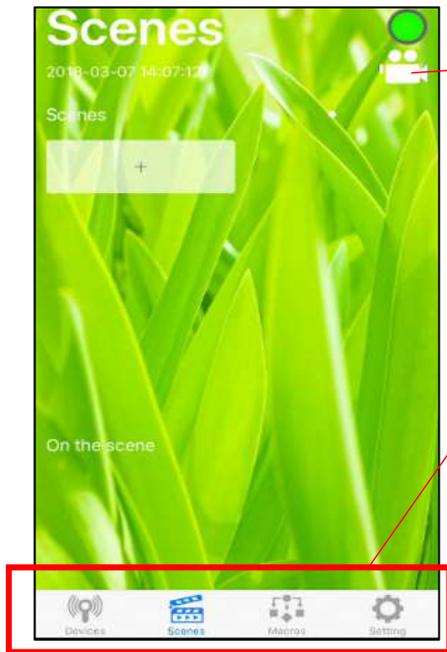
※ 複数のゲートウェイを1つのアプリで使用する場合

ログインしたことがあるゲートウェイのUIDはアプリが記憶します。家アイコンを長押しすると一覧が表示されるので、対象のIDを選択してログインすることができます。



家アイコンを長押し

ログイン後の画面



IPカメラを設定すれば、ここから映像が見られます。

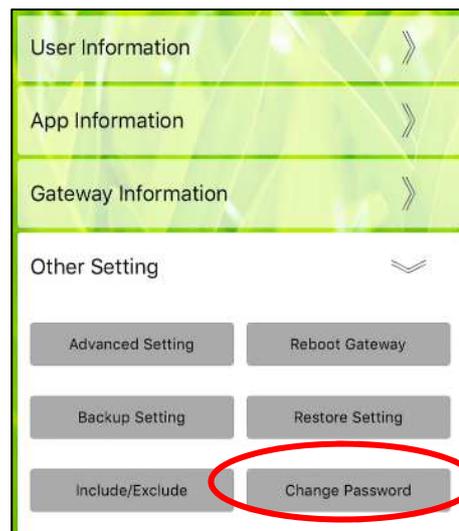
- Devices: 登録した機器がすべて表示され、設定やコントロールができます。
- Scenes: 任意のタイルを作り、よく使うスイッチを配置したり、複数のスイッチを1つの操作でコントロールできます。
- Macros: タイマーやセンサー連動など、条件を設定してスイッチをコントロールできます。
- Settings: 各種設定をすることができます。

ログアウトするには

画面右下の設定画面の一番下の「ログアウト」をタップします。

ログインパスワードを変更するには

画面右下の設定画面→その他の設定で変更します。



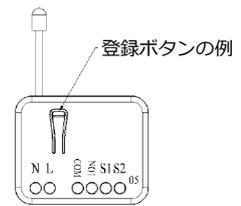
現在のパスワードと新しく設定するパスワードを入力して変更します。



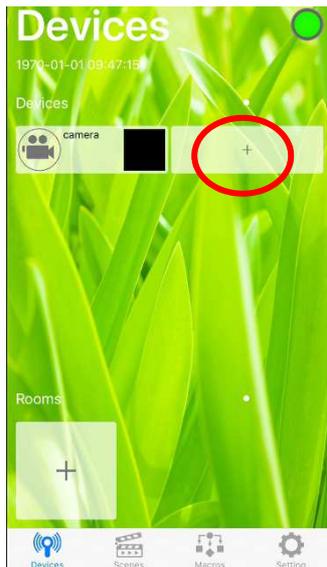
機器を追加/削除するには

ゲートウェイには次のいずれかの方法で機器を登録/削除してください。

- 各機器の登録の方法は各マニュアルをご参照ください。
- 電子錠を登録する場合は、追加画面でチェックボックスにチェックを入れてください。



1 - A. Devices画面から



「+」ボタンをタップ



Include Deviceをタップ



Start Inclusionをタップ

カウントダウンが始まるので、時間内に登録したい機器の登録ボタンを押して追加します。「SUCCESS」と表示されれば成功です。



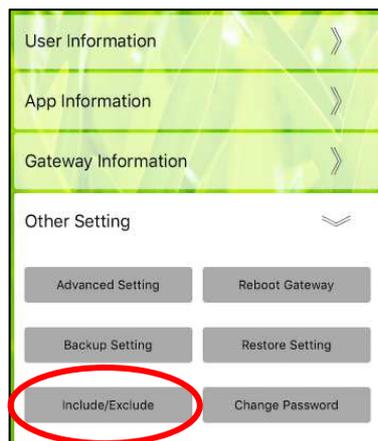
機器を削除する場合は、Exclusionをタップします。同じようにカウントダウンが始まるので、機器のボタンを押して、「SUCCESS」と表示されれば成功です。

- ※ 変更した設定が更新されない場合は、一度スマートフォンのホーム画面に戻り、再度アプリをタップしてください。
- ※ 機器登録後1日はゲートウェイと機器の電源を落とさないでください。

1 - B. Settings画面から



Settingsをタップ



Other Setting → Include /Exclusionを
タップ



Start Inclusionをタップ

カウントダウンが始まるので、時間内に登録したい機器のボタンを押して追加します。「SUCCESS」と表示されれば成功です。

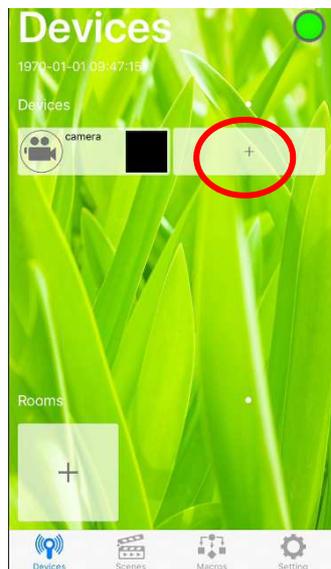


機器を削除する場合は、Exclusionをタップします。同じようにカウントダウンが始まるので、機器のボタンを押して、「SUCCESS」と表示されれば成功です。

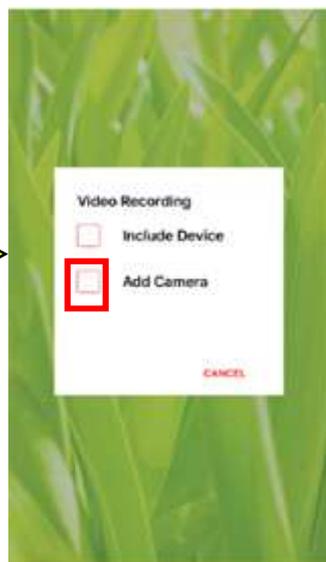
- ※ 変更した設定が更新されない場合は、一度スマートフォンのホーム画面に戻り、再度アプリをタップしてください。
- ※ 機器登録後1日はゲートウェイと機器の電源を落とさないでください。

2-A. IPカメラの追加

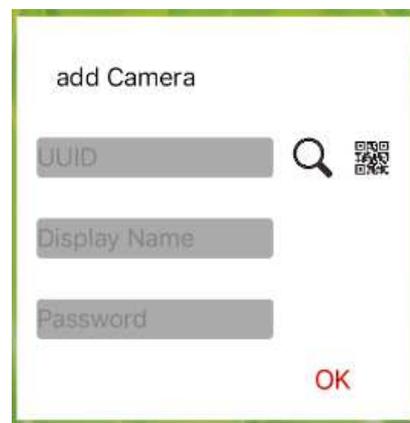
※ IPカメラは、プラネックス社製のスマカメシリーズのみ対応しております。



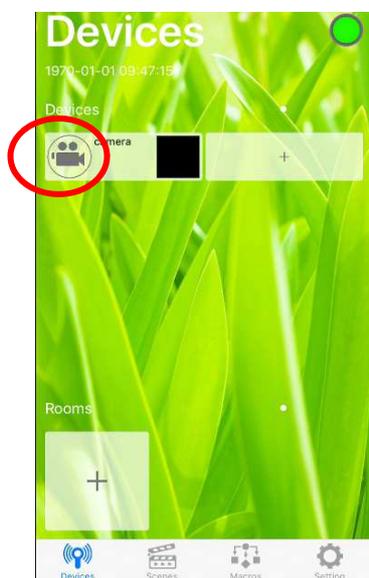
「+」ボタンをタップ



Add Cameraをタップ



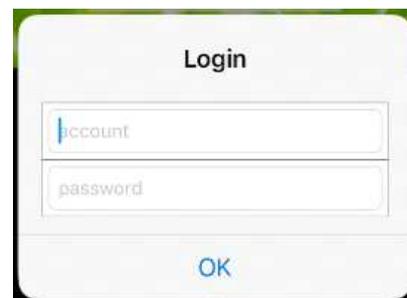
2-B. IPカメラの削除



カメラアイコンをタップ



ごみ箱アイコンをタップ



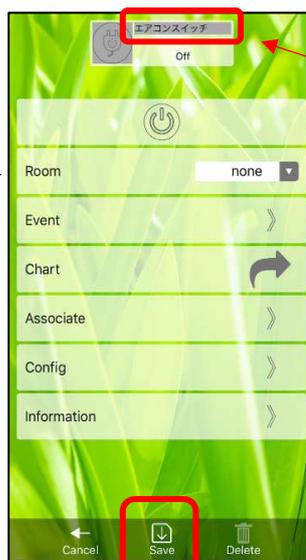
アプリのログイン情報を入力
初期は admin
888888

※ 変更した設定が更新されない場合は、一度スマートフォンのホーム画面に戻り、再度アプリをタップしてください。

3. 登録した機器やタイルの名称を変更したい



①アイコンをタップ



②名称部分をタップして編集します。

③最後に保存をタップします。

4. 登録した機器の並べ替えをしたい



①任意のタイルを長押しします。



②移動したいタイルを選択し、OKをタップします。
タイルは複数選択できます。
作業を中止したい場合は「…」をタップします。



③②で選択したタイルの移動先をタップしてOKをタップすると、タイルを移動できます。

5. 登録した機器を分類したい

ゲートウェイに登録された機器は「デバイス」画面に表示されますが、下の「部屋」を使用することで、見やすいように機器を分類することができます。



① 部屋の「+」をタップします



② アイコンと名前を設定します。



③ 「+」をタップすると機器が表示されるので、分類したい機器をタップしていきます。



④ 最後に「保存」をタップします。



⑤ 「部屋」に新しく追加されます。



⑤ 分類したものだけ表示したいときは、「部屋」で対象のタイルをタップします。タップしたタイルが白くなります。元に戻したいときは再度同じタイルをタップします。

C. Scenes画面

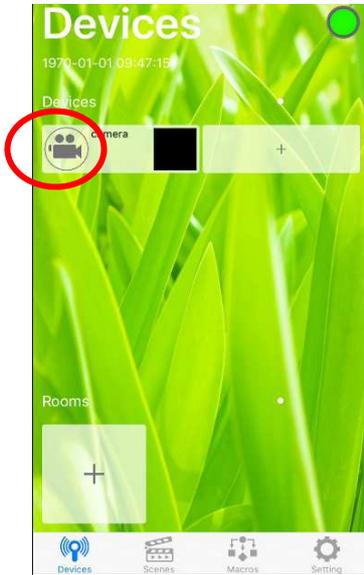
Scenesでは1つのタイルに対してスイッチのONかOFFかを設定できます。1つのスイッチをON/OFFする場合はタイルがそれぞれ必要です。また複数のスイッチを同時に動作させることもできます。





設定したカメラ映像を見るには

A. Devices画面



カメラアイコンをタップ



映像を確認できます。

B. Scenes画面



カメラアイコンをタップ



映像を確認できます。

カメラを複数登録していれば、映像を切り替えられます。



スマートフォンを横向きにして、矢印をタップすると画面全体で映像を見ることができます。





連携動作をするには

- タイマーやセンサーを利用したスイッチの自動ON/OFFはMacros画面で設定できます。
 ※ センサーとDateは組み合わせて設定することができますが、複数のセンサーを条件として設定することはできません。
 たとえば1つの設定で温度と湿度の両方を動作条件にすることはできません。



新たに設定します



連携の名前を設定します
 好きなアイコンを選びます

「If」画面で条件を設定していきます。

◎ タイマーの場合



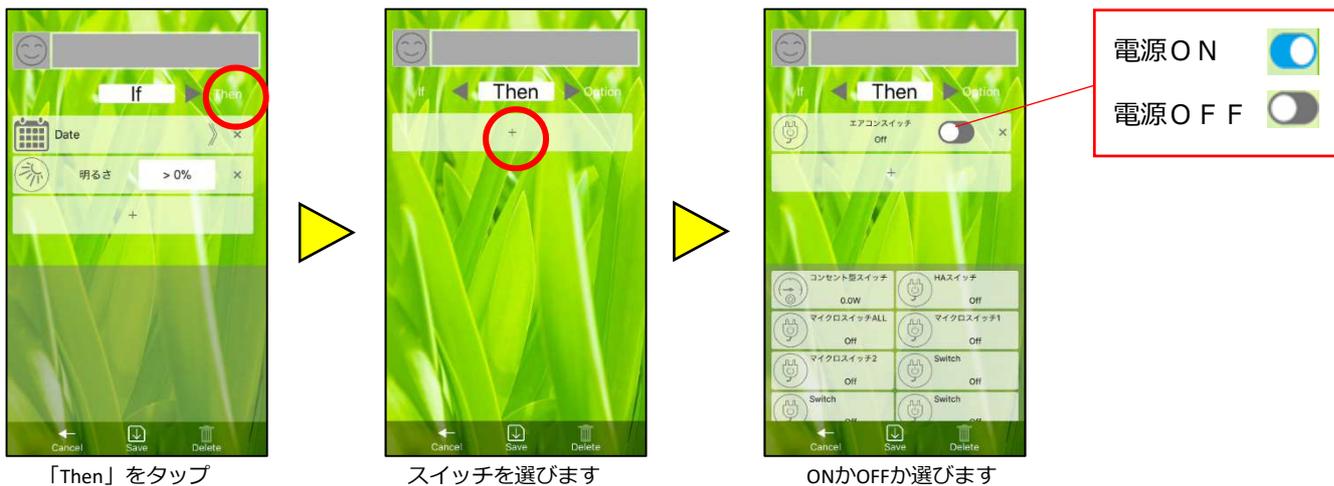
条件を有効にする曜日と時間を設定できます。
 曜日は黄色になっているものが有効です。

◎ 明るさなどのセンサーの場合

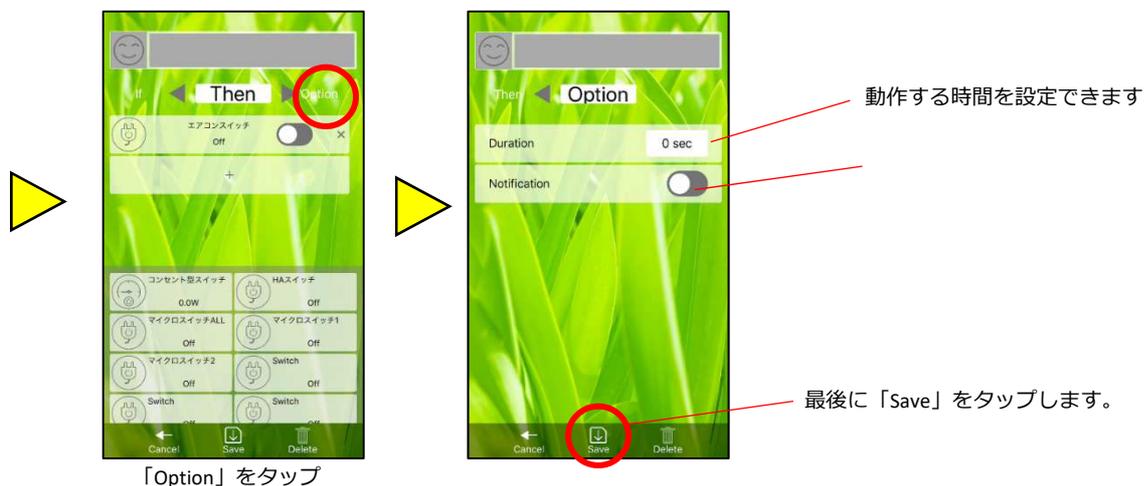


設定した数値より上か下か
 設定する数値
 設定後タップ
 設定した値になってから何秒後にどうさせるか

条件設定後、動作するスイッチを選びます。



条件がタイマー以外の場合は「Option」設定ができます。



連携設定の有効/無効



※ 変更した設定が更新されない場合は、一度スマートフォンのホーム画面に戻り、再度アプリをタップしてください。

■ 人の動きなどを検知してサイレンを鳴らすには

ゲートウェイに搭載されたサイレンを鳴らすことができます。(下記以外に別途設定が必要です)



センサーが検知してから何秒後に警報を鳴らすかを設定できます。

警報の種類を変更できます。

警報が鳴る秒数を設定できます。

最後にタップします。



カギが閉じた状態： 設定有効(警報が鳴ります)



カギが開いた状態： 設定無効(警報は鳴りません)

※ 変更した設定が更新されない場合は、一度スマートフォンのホーム画面に戻り、再度アプリをタップしてください。



こんなときは

Q 1. アプリが起動しない。

- スマートフォンでインターネットに接続できますか？
―――スマートフォンのブラウザでインターネットができるかご確認ください。
- ホームゲートウェイの電源は入っていますか？
―――ホームゲートウェイの電源ケーブルをご確認ください。
- ホームゲートウェイはインターネットに接続していますか？
―――インターネットに接続していれば、機器前面に白丸形でLEDが光ります。
- ホームゲートウェイを接続しているルーターからインターネットに接続できますか？
―――ルーターに接続した他のパソコン等でインターネット接続できるかご確認ください。

Q 2. ログインできない。

- UIDやログインID、パスワードは間違っていますか？
―――UIDはホームゲートウェイの裏面に記載されています。
ログインID/パスワードは初期はそれぞれ「admin/888888」です。
忘れた場合はホームゲートウェイをリセットしてください。
ただし、リセットすると全ての設定が消えてしまいますので、再設定が必要になります。

Q 3. アプリのコントロールをしてもスイッチが動かない。

- スwitchの電源は入っていますか？
―――スwitchの電源接続状態をご確認ください。
- スwitchとホームゲートウェイの距離は適切ですか？
―――可能であればスswitchの場所をゲートウェイに一時的に近付けるなどして、スswitch操作が可能かご確認ください。
- インターネットの通信は正常にできていますか？
―――スマートフォンでインターネット接続できるかご確認ください。

Q 4. 機器のアイコンに「！」マークがついている。

⇒異常ではありません。動作していない場合は下記をご確認ください。

- 機器は電源に接続されていますか？
―――機器の電源接続状態をご確認ください。
- 機器は正常に登録されていますか？
―――必要であれば再度登録作業をしてください。

Q 5. 変更した設定が反映されない。

- 設定完了後、アプリを一度落として再度起動してください。
―――アプリを完全に落とす、もしくはアプリの画面からスマートフォンのホーム画面に戻り、再度アプリを起動します。
そうすることで、アプリの画面が現在の状態にアップデートされます。

Q 6. 設定を変更されないようにしたい。

- ―――アプリのSettingsのOptions画面で変更されたくないものに☑を設定してください。
ただし、解除するにはアプリのログイン情報が必要なため、ご注意ください。

Q 7. アプリのアップデート後、正常に表示されない。

- ―――アプリを1度アンインストールして、ストアから再度インストールしてください。
アンインストールすると、ログイン情報が消えます。再度ログイン情報の登録が必要なのでご注意ください。

